

平成 30 年北秋田市議会 6 月定例会行政報告

北秋田市議会 6 月定例会が開催されるにあたり、2 月 27 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市 長 部 局

総 務 部

<総務課関係>

平成 30 年度職員採用試験は、大学卒業程度一般行政、土木技師について、5 月 23 日から 6 月 27 日まで受験申込みを受け付けし、第 1 次試験は 7 月 22 日に秋田県 J A ビルで実施します。

5 月 28 日から草花を育てる活動を通して豊かな人権感覚を育むことを目的とする「人権の花運動」が行われ、小学校 10 校、中学校 3 校で実施しております。また、6 月 3 日の「第 34 回ふるさと踊りともちっこまつり」において、鷹巣南中学校生徒 4 名が一日人権擁護委員として委嘱され、地域住民への人権思想の普及高揚を図るため街頭啓発活動を行いました。

4 月 1 日より、平成 29 年度に整備を終えた 280MHz デジタル同報無線システムによる、防災ラジオの運用が開始されました。平時には、1 日 4 回定時の時報や市からのお知らせ、防災情報等が放送されています。

5 月 18 日から 19 日にかけて大雨では、市内の広い範囲で累加雨量 100 mm から 200 mm を記録し、秋田地方気象台から土砂災害警戒情報が発令されるとともに、綴子川、小猿部川、小阿仁川、阿仁川の水位が氾濫注意水位を超え、河川の氾濫による被害が発生するおそれがあると見込まれたことから、災害対策本部を設置し、合川、森吉、阿仁地区の全域に避難準備・高齢者等避難開始情報を発令しました。合川、森吉、阿仁地区の 4 箇所に避難所を開設し、自主避難された方は、4 世帯 9 名、要配慮者施設・事業所等の自主避難者は（3 施設 43 名）となりました。

また、床下浸水 1 棟、道路（冠水含む）や農地・農業用施設、林道など計 80 か所の被害が確認されています。（5 月 28 日現在、被害調査継続中）

5 月 25 日、米代川の洪水と大規模地震発生を想定した「県民防災の日」訓練が行われました。

自治会、自主防災組織による洪水想定避難行動訓練、自主防災組織発災対応型訓練、市民病院職員による災害医療救護訓練、市・消防職員による災害対策本部設置運営訓練には、住民、消防

団員など延べ 280 名を超える参加者が、自助能力の向上、地域一体で災害対応する共助力、職員の災害対応力向上を目的とした実践的な訓練を実施しました。

<総合政策課関係>

2月24日、東京都で開催された地方創生プロジェクト「移住・交流フェア」に参加し、全国から約50の自治体や企業が出展する中、地方への移住を考える多くの来場者に本市の魅力をPRしました。本市ブースには12組15名が訪れ、移住に関する相談や市政、特産、暮らしに関する情報提供を行いました。

2月24日、25日の日程で「きた！あきた 真夜中の神秘体験 胸きゅんご縁ツアー」と題し、男女各8名参加のもと結婚促進事業を実施しました。地方での暮らしと結婚に関心を持つ首都圏等在住の女性を招いて地元男性との出会いの機会を設けたもので、郷土料理作り体験や夜の樹氷鑑賞会を通じて本市の魅力をPRし、本市での結婚と暮らしに対する動機付けを図りました。

3月1日、移住コーディネーターとして活動する地域おこし協力隊として、新たに採用となった吉田嵩之さん（福島県出身）へ委嘱状を交付しました。吉田さんは旧合川町時代に山村留学した経験があり、「若い世代が戻ってきたくような地域の魅力の発信に力を入れ、いち早く地域の方々に認知してもらえるよう尽力したい」と意欲を述べました。

同日、本市への移住定住を促進する「（仮称）北秋田市移住定住サポーターの会」設立総会を北秋田市民ふれあいプラザで開催し、会の名称を「北秋田移住定住ネットワーク スムスム」と決定しました。今後は、きたあきた移住支援サポーターや活動に興味をお持ちの市民、市の担当者が連携して移住者の定住につなげていくこととしております。

3月17日、18日の日程で「国内最高水準！秋田流教育の秘密体験ツアー」を開催し、多数の応募者の中から抽選で選ばれた6組12名の田舎暮らしに興味をもつ首都圏在住の親子参加のもと、教育留学の現状や縄文館・マタギ資料館などの文化施設を見学したほか、森吉山阿仁スキー場で360度の大パノラマを体感するなど、本市の魅力をPRし移住への動機付けを図りました。

4月15日、北秋田市民ふれあいプラザにおいて、ハローキティふるさと大使就任式を開催し、ふるさと大使委嘱状の交付に続き、大太鼓及びマタギをアレンジした2種類の北秋田市オリジナルデザインを発表しました。この後、ハローキティショーと握手会が開催され、お子さんや家族連れ約600名が来場しハローキティとふれあいました。

5月1日、地域おこし協力隊で移住コーディネーターの米倉信人さん（米内沢出身）に2期目の委嘱状を交付しました。昨年5月から移住相談や移住体験の案内、フェイスブックやホームページを活用して市の魅力について情報発信を行っており、「今年度は地域住民と移住者との関わりを増やしていく仕組みをしっかりと作っていききたい」などと抱負を述べました。

5月12日、森吉山ダム四季美湖畔において、市と秋田県信用組合との地方創生包括連携協定に基づく植樹事業が行われ、地元の四季美湖を守る会会員のほか秋田県信用組合職員並びに市職員など約180名が参加し、ヤマザクラ、カエデなど約270本の苗木を植樹しました。

5月15日、平成30年度大館能代空港利用促進協議会総会が開催され、前年度事業報告及び決算報告、平成30年度事業計画及び予算案など全議案が承認され、本年度の目標搭乗者数を14万2千人として利用を促進していくことを確認しました。

5月25日、平成30年度第1回北秋田市地域公共交通活性化協議会を開催し、前年度事業報告及び決算報告のほか、平成30年度事業計画及び予算案、生活交通確保維持改善計画などの全案件が承認されました。

5月25日、26日の日程で、5回目となる能代市、大館市、鹿角市、本市の県北4市が連携した合同移住フェア「来てみねが〜!!あきたの北のほう5（GO!）」を東京都で開催しました。フェアでは、各市の地域おこし協力隊や先輩移住者が県北地域での暮らしを紹介したほか、各市のブースで移住希望者の相談対応をするなど、県北地域への移住を意識付けるイベントとなりました。

5月27日、東京都において第32回東京圏あに会総会・懇親会が開催され、200名を超える参加者のもと、32年目の新たな歩みとともに今後の更なる飛躍を誓い合いました。

5月29日、県北秋田地域振興局と北秋田市による意見交換会が開催され、県及び市双方の本年度事業計画等について意見を交わし、北秋田地域の発展に向けて連携していくことを確認しました。

<内陸線再生支援室関係>

秋田内陸縦貫鉄道の平成29年度の収支見通しは、経営損失額2億円以内とする目標を達成する状況となっております。

通勤、通学を含めた全体の平成29年度の乗車人数については、計画した利用客を確保できず、減少したものの、台湾を中心とした外国人観光客が増加しており、外国人団体客については、前年度と比較して162.5%の25,232人が乗車しました。

阿仁合駅の改修については、3月中に工事が完成し、4月21日にリニューアルされた駅舎のお披露目会が行われました。

秋田内陸線夢列車プロジェクト実行委員会によるお座敷車両の改修については、4月19日に完成し、4月21日に阿仁合駅ホームで完成記念式典が行われました。

今年で7回目となる「秋田内陸線のりものまつり」については、5月19日から2日間の開催予定でしたが、前日からの雨の影響で初日の19日の開催を中止とし、20日のみの開催となりました。20日は晴天に恵まれ、お子様連れの市内外のご家族など2,500人を超える方々が会場を訪れ、内陸線の利用促進と地域の活性化を図ることができました。

財 務 部

<財政課関係>

平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 4 月 30 日までの工事等発注状況（500 万円以上）は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表 ※500 万円以上（消費税含む）			
工事名または業務名等		平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日	
工事名または業務名等	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
280MHz デジタル同報無線システム 運用・保守・管理業務	H30. 4. 1	8, 128	東京テレメッセージ(株)
サンリオキャラクター(ハローキティ) 利用契約	H30. 4. 1	6, 480	(株)サンリオ
総務部 2 件		14, 608	
事務机ほか	H30. 1. 25	15, 034	(株)秋北文具
書架ほか	H30. 1. 25	12, 282	(株)成文社
カウンター、会議室机ほか	H30. 1. 25	11, 092	(資)かねき書店
光ファイバ通信網設備保守委託	H30. 4. 1	6, 945	東日本電信電話(株) 秋田支店
内部情報系ハード・ソフト保守委託	H30. 4. 1	5, 521	(株)アイシーエス 秋田支店
住民情報系システム運用保守委託	H30. 4. 1	15, 844	(株)アイシーエス 秋田支店
内部情報系システム使用料	H30. 4. 1	8, 630	(株)アイシーエス 秋田支店
住民情報系システム使用料	H30. 4. 1	15, 496	(株)アイシーエス 秋田支店
財務部 8 件		90, 844	
鷹巣地区家庭ごみ収集運搬業務委託	H30. 1. 25	171, 655	(有)ビルド・ミヤノ
鷹巣地区公共ごみ収集運搬業務委託	H30. 1. 25	26, 393	(有)みらい環境

阿仁地区家庭・公共ごみ収集運搬業務委託	H30. 1. 25	82, 231	秋田北クリーン企画・宗和共同企業体
森吉地区家庭・公共ごみ収集運搬業務委託	H30. 1. 25	87, 480	秋田北クリーン企画・宗和共同企業体
北秋田市し尿処理施設建設工事	H30. 2. 27	1, 401, 840	(株)西原環境 東北支店
北秋田市し尿処理施設建設工事設計施工監理業務	H30. 3. 23	32, 076	(株)エイト日本技術開発 秋田営業所
市民生活部 6件		1, 801, 675	
北秋田市立児童館管理運営業務	H30. 4. 1	26, 000	社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会
子育てサポートハウス管理運営業務	H30. 4. 1	26, 000	社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会
生活困窮者自立相談支援事業	H30. 4. 1	9, 000	社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会
生活困窮者家計相談支援事業	H30. 4. 1	9, 000	社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会
北秋田市地域子育て支援センター業務委託	H30. 4. 1	8, 000	社会福祉法人 鷹巣地の塩会
北秋田市地域子育て支援センター業務委託	H30. 4. 1	8, 000	社会福祉法人 県北報公会 南鷹巣保育園
住民健康情報システム更新及び保守業務委託	H30. 4. 1	11, 016	(株)アイシーエス 秋田支店
阿仁診療所改築工事設計業務委託	H30. 4. 26	22, 140	(有)奈良田建築設計事務所
健康福祉部 8件		119, 156	
農業用施設災害復旧工事(小沢地区)	H30. 1. 12	6, 264	(株)松岡組
農業用施設災害復旧工事(大川向畑地区)	H30. 2. 22	11, 664	(株)藤島組
農業災害復旧工事(2工区)	H30. 2. 22	14, 580	(株)藤島組
農業災害復旧工事(1工区)	H30. 2. 22	11, 610	(株)藤島組
林道施設災害復旧工事(阿仁線1号箇所)	H30. 3. 23	9, 342	(株)上杉組
局所防災工事(幸屋渡地区)	H30. 3. 23	6, 653	(有)阿仁土建

林道施設災害復旧工事(宝附線 1 号 箇所その 1. その 2・その 3)	H30. 3. 26	6, 707	山一林業(株)
産業部 7 件		66, 820	
道路改良工事(2 級市道 桂瀬駅前 線)	H30. 1. 12	18, 360	(有)米広組
河川災害復旧工事(準用河川 打当 内川)	H30. 1. 12	6, 167	(有)阿仁土建
道路維持工事(その他市道 李岱羽 根山線)	H30. 1. 16	6, 977	(有)宗和
道路災害復旧工事(2 級市道 幸屋 線)	H30. 3. 23	12, 204	(株)上杉組
道路災害復旧工事(その他市道 東 ノ又線)	H30. 3. 23	5, 238	(有)庄栄組
舗装維持工事(1 級市道 鷹巣～前 山線)	H30. 3. 23	10, 152	(有)丸栄建設
舗装維持工事(1 級市道 駅前通 線)	H30. 3. 23	10, 530	(株)佐藤庫組
舗装維持工事(1 級市道 米内沢駅 前通線)	H30. 3. 23	10, 800	秋田土建(株)
舗装維持工事(1 級市道 大町～川 戸沼線)	H30. 3. 23	5, 778	朝日建設(株)
舗装維持工事(1 級市道 銀山水無 線)	H30. 3. 23	5, 940	(株)上杉組
終末処理場ストックマネジメント 実施方針策定業務委託	H30. 3. 23	14, 100	オリジナル設計(株) 秋田 事務所
道路災害復旧工事(その他市道 ブ ナ森 2 号線)	H30. 3. 26	34, 992	(株)藤島組
阿仁地区小型合併浄化槽維持管理 業務委託	H30. 4. 1	15, 723	(有)鷹阿二清掃興業
阿仁地区水道施設維持管理業務委 託	H30. 4. 1	5, 530	(有)ヤマグチ
森吉地区農業集落排水処理施設維 持管理業務委託	H30. 4. 13	5, 310	(株)二幸協同黄金社
浄化センター維持管理業務委託	H30. 4. 13	74, 520	山岡工業(株)
合川地区農業集落排水処理施設維 持管理業務委託 (I 型)	H30. 4. 18	5, 648	(有)宗和
合川地区農業集落排水処理施設維 持管理業務委託 (III 型)	H30. 4. 18	6, 512	(有)宗和

道路改良工事(その他市道 高村岱 4号線)	H30. 4. 26	42, 444	(有)丸栄建設
建設部 19 件		296, 925	
消防本部消防救急デジタル無線設 備保守業務	H30. 4. 1	9, 990	(株)富士通ゼネラル 東北 情報通信ネットワーク営業 部
消防本部高機能指令センター設備 保守業務	H30. 4. 1	6, 934	(株)富士通ゼネラル 東北 情報通信ネットワーク営業 部
消防本部 2 件		16, 924	
北秋田市民ふれあいプラザ非常用 発電設備工事	H30. 1. 12	76, 680	(株)ユアテック 鷹巣営業 所
伊勢堂岱遺跡立木伐採委託	H30. 1. 25	9, 688	大館北秋田森林組合
鷹巣北部学校給食センター厨房用 エアコン設置工事	H30. 1. 25	5, 260	日通プロパン鷹巣販売(有)
北秋田市放課後児童クラブ運営管 理業務	H30. 4. 1	45, 651	社会福祉法人 北秋田市社 会福祉協議会
北秋田市文化会館 舞台運営等業 務(5月～3月分)	H30. 4. 26	6, 804	北秋田舞台工房 breath 鷹 巣営業所
教育委員会 5 件		144, 083	
北秋田市議会議員一般選挙ポスタ ー掲示場設置及び撤去業務委託	H30. 2. 6	8, 370	(株)テクノル
選挙管理委員会 1 件		8, 370	
合計 58 件		2, 559, 405	

第二庁舎(旧中央公民館)の改修工事については、3月15日に完成し、4月より産業部が業務を行っております。また、本庁舎の空調設備・照明器具改修工事については、3月20日に完成しております。

市税等の新たな納付方法として、4月よりコンビニ納付サービスを開始しました。市民税や固定資産税などの市税のほか、保育料やふるさと寄附金など、合わせて10種類について、納期限内であれば、全国の指定コンビニエンスストアの営業時間の範囲内で納付することが可能となりました。

平成30年度の地籍調査事業については、伊勢町を対象地区として実施します。実施に向けた対象地区住民への説明会を5月25日、26日に開催しております。

<税務課関係>

平成 30 年度の軽自動車税と純固定資産税の当初調定額及び 4 月末現在の平成 29 年度分の市税等の収納状況については、次のとおりとなっております。

また、収納対策として、日中相談に来られない方のための夜間・休日納税相談窓口を 4 月に 3 回、5 月に 2 回開設しました。

区 分	調 定 額		
	平成 30 年度現年課税分	平成 29 年度現年課税分	前年比
軽 自 動 車 税	92,285,100 円	90,830,300 円	101.60%
純 固 定 資 産 税	1,518,045,700 円	1,524,892,800 円	99.55%

区 分	課税台数と納税義務者数		
	平成 30 年度現年課税分	平成 29 年度現年課税分	対前年
軽 自 動 車 税	15,951 台	16,173 台	△222 台
純 固 定 資 産 税	16,167 人	16,262 人	△95 人

平成 29 年度分の収納状況（4 月末現在）

税 目		調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収納率 (%)	前年同 (%)
個人市民税	現	962,258,500	955,174,450	99.26	99.13
	滞	39,427,754	11,626,354	29.49	24.79
法人市民税	現	190,587,600	189,315,867	99.33	99.29
	滞	5,191,100	1,511,449	29.12	15.00
純固定資産税	現	1,490,508,100	1,468,953,582	98.55	97.88
	滞	129,349,030	21,197,652	16.39	18.17
交 付 金		81,741,400	81,741,400	100.00	100.00
軽自動車税	現	89,590,400	88,224,117	98.47	97.73
	滞	4,309,691	1,414,578	32.82	24.67
市たばこ税		208,035,924	208,035,924	100.00	100.00
入 湯 税		3,516,450	3,232,500	91.93	100.00
国民健康保険税	現	576,457,300	551,268,094	95.63	93.97
	滞	120,729,560	23,513,860	19.48	17.34
合 計		3,901,702,809	3,605,209,827	92.40	90.96

市民生活部

<生活課関係>

クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設については、4月から長期包括的運転管理業務委託により、順調に運転が行われております。4月24日には竣工式を執り行い、5月から施設の見学会の申請を受け付けており、5月末で市内13団体から申請がありました。

北秋田市廃棄物不法投棄監視員については、4月11日に監視員24名に対する委嘱状交付式を開催し、委嘱状の交付と平成30年度の活動について確認しました。

春のクリーンアップについては、4月15日に市内全域（阿仁地区は22日実施）で実施され、悪天候にも関わらず約4,000人の市民が参加しました。

平成29年度のごみの搬入については、総数量が10,629トンで、前年度比2.2%の減少となっております。内訳は、可燃物が9,026トン、不燃物が422トン、リサイクル品7品目が1,181トンとなっております。

春の全国交通安全運動が、4月6日から15日までの10日間実施されました。運動初日には北秋田地区総決起集会が北欧の杜公園で行われ、北秋田市の交通死亡事故ゼロ365日の表彰と、交通安全母の会による踊りが披露されたほか、運動期間中の交通事故防止を呼びかけました。

消費者行政については、消費者からの相談や消費者トラブル未然防止等の取り組みを消費生活センターで行っております。また、消費者月間中の5月9日には、鷹巣地区の大型ショッピングセンター2店舗前において、特殊詐欺等の被害に遭わない啓発活動を行うとともに、消費生活センター相談窓口の周知を図るための街頭キャンペーンを実施しました。

市民提案型まちづくり事業については、第1回審査委員会を4月12日、第2回審査委員会を5月17日に開催し、合計4団体の申請を採択しております。

山岳遭難の発生防止については、5月11日に北秋田市山岳遭難対策会議を開催し、各種関係団体による発生防止策や事故発生時の対応について協議しました。また、5月26日早朝には、森吉山ダム広報館前において、入山者に対する遭難防止啓発活動を実施しました。

<市民課関係>

平成30年4月末現在の住民登録者数は32,526人（内外国人155人）で、その内訳は、男15,231人（同10人）、女17,295人（同145人）、世帯数は14,141世帯（内外国人を含む世帯80世帯）となっております。個人番号カードについては、4月末現在の交付（作成）申請枚数が3,052枚で、申請枚数の人口に占める割合は9.4%となっております。地方公共団体情報システム機構（J-LIS）から市に順次送付されてきており、交付枚数は2,488枚となっております。また、通知カードについて、受け渡しできずに市が保管している件数は、105件となっております。

国民健康保険については、4月末現在の加入世帯数は5,020世帯、被保険者数は7,535人（内、一般被保険者数7,373人、退職被保険者数162人）で、その内、前期高齢者は、4,161人となっております。

後期高齢者医療制度の、4月末現在の被保険者数は7,888人で、その内若年障害者認定数は193人となっております。

健康福祉部

<福祉課関係>

平成30年度の保育所入所は、4月1日現在、公立保育園265名、私立保育園490名の合計755名となっています。

「ひとり親家庭就学祝金」については、小学校及び中学校への入学時の経済支援として、本年度は小学生14人、中学生33人の児童生徒に交付いたしました。

障害者の福祉タクシー事業については、5月末時点で59名に利用券を交付しております。

<高齢福祉課関係>

今年4月1日から、地域包括ケアシステムの充実を柱とした「第7期介護保険事業計画」が始まっております。

認知症支援の強化を図るため、地域包括支援センター内に「認知症初期集中支援チーム」を4月から設置いたしました。認知症の方や認知症の疑いのある方、その家族のもとに訪問して認知症についての困りごとや心配ごとなどの相談に対応いたします。集中的なサポートで認知症の早期診断、速やかに適切な医療、介護等が受けられるよう医療、介護の専門職が支援してまいります。

<医療健康課関係>

保健事業全般の普及啓発として「健康ガイド」保存版を市広報4月号と共に全戸配布しております。

成人健診事業については、各地域巡回型の集団健診が4月16日から始まり、森吉・合川・阿仁地区が終了し、鷹巣地区は6月30日までの予定で行っております。ホリデー検診として各地区休日の検診日を設け実施しております。より若い世代から健康に関心を持っていただくよう、20歳から39歳までの方を対象に「さわやか健診」を実施しております。また40・50・60歳の節目年齢の方には特定健診の検査項目に心電図・眼底・貧血検査を追加して実施しております。

胃がん検診については、4月21日より始まり、森吉・合川・阿仁地区が終了し、鷹巣地区は6月30日までの予定で行っております。胃がん検診・大腸がん検診の全額助成対象者に無料クーポン券に代わる案内を受診票と一緒に配布しております。また、ホリデー検診の胃がん検診において今年度50から58歳までの偶数年齢の方を対象に同時にピロリ菌検査も実施しております。

女性の検診（子宮頸がん・婦人科超音波検診、乳がん、骨粗しょう症検診）については、4月19日から始まり、森吉地区が終了し、合川・阿仁・鷹巣地区は9月11日までの予定で行っております。

運動教室として60歳以上の方を対象にロコモティブシンドローム予防のため「のびのび運動教室」を月1回6会場で実施しております。現在鷹巣91人、合川47人、森吉65人、阿仁49の方が登録しています。また、チャレンジデーに合わせ5月30日「まちなか・縄文ウオーク」を実施し99人が参加しております。

母子保健事業については、毎週月曜日母子健康手帳を交付しております。4月から5月末日現在17件交付しております。乳幼児健診・育児サークルを毎月実施し子育て支援に努めております。

心の健康づくり事業としては12月から3月まで「ほっとあい訪問」を75歳以上の方258件訪問しております。また、3月3、4日の2日間市内4地区において自殺予防キャンペーンを行っております。

北秋田市民病院については、平成30年3月22日付けで厚生労働大臣より「地域がん診療病院」の指定を受けました。専門的ながん医療の提供のほか、相談支援や情報提供の役割を担うことになり、がん診療連携拠点病院である秋田厚生医療センターと連携しながら質の高いがん医療の提供に努めてまいります。

北秋田市民病院運営連絡協議会については、5月31日に第1回の連絡協議会を開催し、市民からの要望等への対応や指定管理内容の改善に関する協議のほか、今後の取り組み方針等報告がされております。今後も厚生連との連携を強化し諸課題に対応することを確認しております。

北秋田市地域医療連携センター運営協議会については、3月11日に北秋田市民ふれあいプラザコムコムにおいて、秋田大学大学院医学系研究科 脳神経外科の清水教授をお迎えし、「脳卒中のいろはから最新治療まで」を演題に、北秋田市医療講演会を開催しております。市民、医療介護関係者約450人が来場し、脳卒中に対する理解を深めていただく良い機会となりました。また、3月22日には情報共有ワーキンググループにおいてICT活用による情報共有の研修として、岩手県宮古市を視察し先進事例について学んだほか、連絡協議会の活動に関する情報提供として地域医療連携センターだより「クローバー通信」を作成し、全戸配布をしております。

<診療所関係>

1月から4月までの市立3診療所の外来患者数については、阿仁診療所では、内科2,607人で前年同期対比157人(5.7%)の減、外科2,959人で前年同期対比87人(2.9%)の減、歯科1,074人で前年同期対比66人(5.8%)の減となっております。合川診療所では2,751人で、前年同期

対比 299 人（9.8％）の減となっております。米内沢診療所では、内科 4,393 人で前年同期対比 263 人（5.6％）の減、小児科 646 人で前年同期対比 3 人（0.5％）の減、整形外科 978 人で前年同期対比 60 人（5.8％）の減、脳血管外科 253 人で前年同期対比 67 人（20.9％）の減、心臓血管外科 38 人で前年同期対比 8 人（17.4％）の減となっております。

今後も、地域住民の健康を守るため安定した診療所運営に努めてまいります。

産業部

<農林課関係>

5 月 18 日から 19 日の豪雨により、農業関係では、農地の冠水が 250.3 h a、農地災害 8 か所、農業施設災害 12 か所、稚魚の流失が発生しております。また、土砂の堆積や表土の流失が 3.5 h a となっております。田植え時期の災害であることから、農業用排水路の土砂堆積撤去を実施し、田植えができるよう緊急の対応を実施しました。現在は農地・農業用施設災害事業の対応に事務を進めております。林業関係では、林道 21 路線 34 か所に法面崩落、路肩崩落、路面洗掘の被害があったものの、補助災害に該当する大規模な被害には至っておらず、車両等の通行確保に順次対応しております。

稲作については、4 月に積雪を観測するなど生育や遅れが心配されましたが、春作業が平年並みとなり、田植え作業についても、平年並みで最盛期となりました。今後は J A を始めとする農業指導関係機関との連携を密にして、水管理等の適正指導を啓発して参ります。

園芸メガ団地整備事業等については、昨年からの継続 1 地区と本年新規に取り組む 1 地区が事業に着手され、順調に推移しております。

新規就農者の就農直後の経営確立のため助成を実施する農業次世代人材投資事業については、3 名が新規に就農し、今後 5 年間の助成を受けながら農業経営を行うこととなります。

今年の牧場運営については、5 月 1 日に 45 頭が鷹巣牧場に入牧し、夏山冬里方式による低コストで健康な肉用牛の生産に向け、農家の生産活動の維持促進を図り経営の安定に努めて参ります。

土地改良事業関係については、県営のほ場整備事業の 1 地区が農地中間管理機構を活用した新型ほ場整備方式で 4 月 4 日に新規採択され、このほか継続 5 地区が事業実施されております。

林業施設災害復旧事業については、繰越工事「宝附線外 3 ヶ所」について早期通行可能となるよう完成に向けて進めており、また、同じく繰越工事の局所防災事業「幸屋渡地区」についても、梅雨の降雨期前の完成に向けて進めております。

4 月 22 日に発生しましたツキノワグマによる人身被害を受け、4 月 25 日に「第 1 回北秋田市被害防止対策連絡会議」を開催し、関係機関各位出席のもと、被害状況の把握と被害防止対策について再確認をし、今後のツキノワグマによる被害防止に努めております。

<商工観光課関係>

特産品事業については、4月27日森吉山麓村興し会主催による『第7回BM（バター餅）－1グランプリ』がクウインス森吉で開催され、市内の11の団体・個人からクラシカル部門に5種類、アレンジ部門には個性あふれる20種類のバター餅が出品されました。

4月1日付けで本市へ地域おこし協力隊「北秋田市観光振興コーディネーター」として着任した高橋了介さん、高橋彩子さん（横浜市出身）の2人に対し委嘱状の交付を行ないました。それぞれ、「マタギ文化継承」と「どぶろく製造」をテーマに活動を始めました。

4月21日から5月6日まで第67回北秋田市鷹巣中央公園桜まつりが開催され夜間のライトアップも行なわれたほか、4月28日の観桜会は多くの方で賑わいました。

くまくま園については、4月28日に開園し5月6日までのゴールデンウィーク期間中9日間で4,861人が来場しました。今年誕生した子熊とのふれあいや、ひぐま舎運動場でのエサ隠し体験などを楽しみました。

遊遊ガーデンについては、5月3日から5日までの3日間限定で釣り体験を開催し、2日間雨天となりましたが、227人の家族連れに楽しんでいただきました。

森吉山山開きについては、5月3日に開催いたしましたが、悪天候のため妖精の森内のロッジにおいて、約30人の参加により安全を祈願いたしました。

地方創生拠点整備交付金を活用して3月20日に完成いたしました「どぶろく工房」では、4月6日に初仕込が行なわれ、5月10日には初出荷発表会が開催され、新酒の鑑評を行ないました。

アンテナショップ連携事業については、東京都板橋区ハッピーロード大山商店街が行った春のふるさとイベントにて、5月24日、25日に北秋田市特産品フェアを開催し、特産品販売のほか観光PRを行いました。

中国トップセールスについては、5月25日から5月28日かけて知事や県内自治体の首長と共に遼寧省大連市を訪問しました。北前船寄港地フォーラムに参加したほか、秋田県観光セミナーにおいて森吉山阿仁スキー場や樹氷、秋田内陸線の犬っこ列車や舞妓列車を活用した観光PRを行いました。

建設部

<都市計画課関係>

南鷹巣団地建替事業については、建設工事の工事請負契約を5月に締結し、10月中旬の完成に向け、建築本体工事（10戸：木造平、屋4戸建2棟、木造平屋2戸建1棟）に着手しております。

5月18日からの大雨により、河川の増水による浸水で2か所の都市公園等について被害があり、堆積土砂・漂流物の撤去とともに流出表土の復旧工事を進めております。

<建設課関係>

5月18日からの記録的な大雨により、河川は護岸決壊等、道路は崩落や一時的な冠水等による通行止めが発生しました。5月23日現在の主な被災状況は、河川災害2河川2か所、道路災害7路線9か所となっております。応急対策と併せ、災害復旧制度による国の災害査定の準備を進めるとともに、関係機関との連携を図りつつ公共土木施設の迅速かつ確実な復旧を推進してまいります。

また、平成30年1月1日から平成30年4月30日までの道路関係工事発注及び完成状況は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表	
平成30年1月1日～平成30年4月30日	
工事名または業務名等	
道路維持工事（2級市道 幸屋線）	
道路等維持事業 1件	
排水維持工事（1級市道 駅前木戸石線）	排水維持工事（1級市道 下杉上杉線）
排水維持工事 2件	
舗装維持工事（1級市道 大町～川戸沼線）	舗装維持工事（1級市道 鷹巣～前山線）
舗装維持工事（1級市道 駅前通線）	舗装維持工事（1級市道 米内沢駅前通線）
舗装維持工事（1級市道 銀山水無線）	
舗装維持工事 5件	
道路改良工事（その他市道 高村岱4号線）	
道路改良工事 1件	
電力設備支障改修工事及び新設橋詳細設計業務委託（元町跨線橋）	
防災・安全交付金事業 1件	
道路災害復旧工事（その他市道 東ノ又線）	道路災害復旧工事（2級市道 幸屋線）
道路災害復旧工事（その他市道 ブナ森2号線）	
公共土木施設災害復旧工事 3件	

工事等完成一覧表	
平成30年1月1日～平成30年4月30日	
工事名または業務名等	
排水維持工事（その他市道 根小屋線）	排水維持工事（1級市道 阿仁前田停車場線）
排水維持工事（2級市道 湯口内線）	
排水維持工事 3件	

道路維持工事（その他市道 田子ヶ沢～岩谷線）	道路維持工事（１級市道 駅前木戸石線）
道路維持工事（その他市道 李岱羽根山線）	
道路維持工事 ３件	
歩行空間整備工事（１級市道 米代町線）	道路改良工事（２級市道 桂瀬駅前線）
道路改良工事 ２件	
橋梁補修工事（高渕陸橋）	道路橋(JR 跨線橋) 定期点検業務委託
道路橋定期点検業務委託	トンネル補修詳細調査設計業務委託（根子トンネル）
道路覆工構造物定期点検業務委託	橋梁補修詳細設計業務委託（石坂陸橋）
橋梁撤去詳細設計業務委託（元町跨線橋）	橋梁補修詳細設計業務委託（秋田渡橋）
橋梁補修詳細設計業務委託（鎌沢橋）	橋梁補修詳細設計業務委託（葛黒橋）
橋梁補修詳細設計業務委託（西の又沢橋）	
防災・安全交付金事業 １１件	
橋梁補修詳細設計業務委託（坊沢大橋）	
道路・橋梁等防災対策事業 １件	
河川維持工事（準用河川 増沢川）	河川維持工事（準用河川 摩当沢川）
河川維持工事 ２件	
道路災害復旧工事（１級市道 向田喜鵲線）	道路災害復旧工事（その他市道 小森線）
河川災害復旧工事（普通河川 板木沢川）	河川災害復旧工事（準用河川 糠沢川）
河川災害復旧工事（普通河川 打当内川）	河川災害復旧工事（普通河川 大沢川）
災害復旧工事 ６件	

<上下水道課関係>

上水道事業については、愛宕下地区老朽管更新工事を発注しています。

鷹巣浄水場移転事業については、浄水場建設工事と浄水場機械電気設備工事を発注しています。

公共下水道事業については、鷹巣処理区の鷹巣字平崎上岱の一部、脇神字高村岱の一部、米ノ岱の一部 2.5ha が４月１日に、鷹巣字平崎上岱の一部、脇神字西陣場岱の一部、平崎上岱の一部 4.0ha が５月１日にそれぞれ供用開始となりました。

鷹巣処理区の供用区域面積は、377.3ha になります。

工事等については、鷹巣処理区において鷹巣字平崎上岱、脇神字高村岱地内ほかで面整備工事４件、管渠詳細設計業務委託４件、公共下水道効率的な事業計画策定及び米内沢浄化センター耐震診断調査の業務委託２件が完成しております。また、下水道施設全体の管理を最適化することを目的とした終末処理場ストックマネジメント実施方針策定業務委託を発注しております。

消防本部

<常備消防関係>

平成 30 年 2 月から 4 月までの統計については、住宅火災が全焼 1 件を含む 3 件となっております。救急出動件数は 411 件で急病が 293 件で最も多く、次いで一般負傷 52 件となっています。救急救命士の行った医療行為は血管確保が 11 件、ブドウ糖の投与、アドレナリン投与、気管挿管が各 1 件となっています。三次医療機関などへの転院搬送は 39 件で秋田市内が最も多く 20 件となっています。ドクターヘリによる三次医療機関などへの搬送は 6 件で、救急現場からのドクターヘリ要請はありませんでした。救助出動件数については、交通事故の 10 件となっております。

主な災害活動については、5 月 10 日上小阿仁村南沢で滑落した男女 4 人を県警ヘリ、防災ヘリ、ドクターヘリと連携し救助活動を行っています。5 月 18 日の大雨により河川が増水し孤立した 1 世帯 2 名を救助しています。

「災害時情報案内テレホンガイド」の 5 月 23 日現在の利用件数は 1,348 件となっております。今後も市民へ火災発生時や災害時の情報案内の利用を呼びかけてまいります。

訓練については、2 月 16 日に北秋田市民病院を会場に、同院と北秋田保健所、当消防本部が新型インフルエンザ患者の発生を想定した実働訓練を行い、初動対応の実施手順や体制整備の検討を行っています。2 月 22 日には救急隊員による想定シミュレーションを行い、指導救急救命士と北秋田市民病院医師より一連の活動に対する助言をいただき、救急救命処置のスキルの向上を図っております。3 月 1 日には、日本海沿岸東北自動車道 大館能代空港 I C～鷹巣 I C の開通を前に当消防本部、国土交通省能代河川国道事務所、高速交通警察隊、北秋田警察署から 41 人が参加して情報伝達、交通規制、救助活動訓練を実施しております。また 3 月 13 日には男鹿市椿漁港で男鹿地区消防水難隊と合同で水難訓練が行われ、北秋田市消防から 12 名の水難救助隊員が参加し海中での搜索、救助、緊急脱出などの実践訓練を行っています。4 月 16 日には県防災ヘリコプター「なまはげ」の駐留基地においてヘリコプターの離発着時の安全管理要領と隊員間の連携を図るため県防災航空隊と当本部救助隊員 6 名が合同訓練を実施しております。

県民防災の日になんだ訓練については、本庁舎に訓練本部を設置し運営訓練を行ったほか、阿仁中学校では避難訓練、自治会では避難行動訓練や自主防災組織発災対応訓練を行っています。また北秋田市民病院では多数傷病者の受入訓練を行っています。

今年 1 月に米内沢字伊勢ノ森地内で発生した建物火災で初期消火によって延焼の拡大を阻止した松山町の男性 2 名に感謝状を贈呈しております。積雪が多かった今冬は消火栓や防火水槽の除雪作業が遅れることもありましたが、自宅近くの消火栓の除雪作業にご協力をいただいたおかげで、降雪の多い日でも消防水利の確保を維持することができました。

資格試験、研修については、第 41 回救急救命士国家試験を受験していた当消防本部職員 2 名が合格いたしました。今後は病院実習や各種講習を得て救急救命士として活動する予定となっております。また予防技術者を確保するための予防技術者検定試験に 6 名が合格しております。

新入学生・児童生徒の安全を確保するために、救急救命士が自己注射可能なエピネフリン製剤の使用方法について、学校職員を対象に講習会を開催しております。4 月 4 日、救急救命東京研修所（八王子市）第 54 期へ 1 名が入所し、また 4 月 9 日には秋田県消防学校（由利本荘市）初任科第 72 期へ新採用の 3 名が入校しております。

春の火災予防運動期間中（4 月 1 日～7 日）は防災ラジオで朝 6 時と夜 8 時の 2 回予防広報を行ったほか、共同住宅や福祉施設、集会所の防火査察を実施しております。

<非常備消防関係>

2 月 25 日に消防団員として基本的な知識、技術の習得、共同精神を育むことを目的に秋田県消防協会大館北秋田支部主催の消防団中堅幹部・初任団員研修会が大館市立中央公民館で開催され、北秋田市からは消防団員 30 名が参加しております。

市町村が消防を運営する「自治体消防」70 周年を記念する式典が 3 月 7 日東京両国国技館で天皇、皇后両陛下を迎えて開かれ、関係者約 4 千人が参加しました。当市からは消防団長他 5 名が出席しております。

春の火災予防運動の初日には機械器具の点検、技術の向上を目指し 4 地区で全消防団員による一斉放水訓練が行われております。さらに鷹巣地区では各地区の分団と女性消防団員が参加し県総合防災訓練に備えたポンプ車の中継訓練が行われたほか、消防団員が戸別訪問し火災予防の呼びかけとチラシの配布を行っております。

教育委員会

<総務課関係>

あきたリフレッシュ学園については、昨年度の開園日数が 197 日で、延べ利用者は 964 名となっております。卒園した中学 3 年生 3 名全員が高校へ進学し、現在も元気に登校しているとの報告を受けております。4 月 9 日には、平成 30 年度入園式が行われ、5 月 1 日現在の学園生は 14 名となっており、児童生徒が学習活動、体験活動を通じて、学校や社会へ 1 日でも早く復帰出来るよう支援を続けてまいります。

教育留学推進事業については、現在北海道、東京都、大分県から 5 名の小学生と、兵庫県から 1 名の中学生を受け入れております。

小・中学校の整備(契約額 150 万円以上)については、綴子小学校及び鷹巣南小学校のプールろ材交換工事と、平成 32 年 4 月の鷹巣中学校と鷹巣南中学校の統合に向けて、校舎を改修するための設計業務委託(鷹巣中学校校舎大規模改造工事)を発注し、対応に努めてまいります。

また、4 月 11 日に発生した強風により、旧合川北小学校体育館の屋根の一部が剥がれましたが、早急な対応を図りました。

新たな教育委員として 5 月 14 日付けで、藤本基子委員が就任されました。5 月 31 日には第 1 回総合教育会議を開催して、平成 30 年度の主な教育施策等について協議、意見交換を行っております。

<学校教育課関係>

平成 30 年度の小・中学校入学式が 4 月 5 日から 7 日に行われ、小学校 10 校に 185 名、中学校 5 校に 223 名の児童・生徒が入学しました。

5 月 1 日現在の児童生徒数は、小学校 1,156 名、中学校 669 名で合計 1,825 名です。学級数は小学校が 76 学級、中学校が 35 学級です。

市内小・中学校に関する調査研究と教職員の研修を推進する北秋田市教育センターの所員総会が 4 月 27 日に行われ、所員(教職員) 221 名により今年度の活動がスタートしました。

各小・中学校の運動会・体育大会は 4 月 29 日を皮切りに、5 月 12 日 13 日、6 月 2 日 3 日に行われ、家族や地域の方々の声援を受けながら、元気いっぱいに躍動する子どもたちの姿が見られました。

4 月 17 日には全国学力・学習状況調査が行われ、小学校 6 年生と中学校 3 年生の悉皆調査で国語、算数・数学、理科の 3 教科において、日頃の学習の成果を確認する問題等に挑みました。

<生涯学習課関係>

市民ふれあいプラザは、平成 30 年 3 月 28 日に 50 万人目の入館者を迎え、セレモニーを行い節目の利用者に記念品を贈呈しました。今後は中心市街地の活性化と生涯学習によるひとづくり・まちづくりを市民と行政との協働で進めるため「にぎわいづくり委員会(仮称)」を立ち上げます。

各地区公民館の高齢者大学事業は、高鷹大学、合川ことぶき大学、森吉大学、阿仁生き生き大学の入学・開講式を終え、423 人により新年度がスタートしました。

定期講座では、市民ふれあいプラザ 3 講座、合川公民館 6 講座、森吉公民館 5 講座、阿仁公民館 4 講座、鷹巣 5 地区の公民館講座 10 講座、前田公民館 1 講座、大阿仁公民館 1 講座、合計 30 の定期講座を開設し、市民が交流しながら積極的に学びあえる機会を提供しています。

家庭教育支援では、5 月 27 日にファザーリングジャパンの安藤哲也さんたちによる読み聞かせイベント「パパ's 絵本ライブ in コムコム」を開催し、参加者は親子での交流を楽しみながら父親の育児参加促進について理解を深めました。

市内全ての小学校・中学校で取り組んでいる「地域学校協働本部事業」は、5月22日に第1回連絡協議会及び推進研修会を開催し、地域と学校がともに歩みながら次世代を担う人材を育成するための仕組みづくりについて確認しました。

放課後児童健全育成事業においては、児童の安心・安全な居場所を確保するため、放課後子ども教室と連携を図りながら、市内10箇所で595人の学童保育を実施しております。

市指定文化財では、「松栄桜並木」の解除手続きと今後の予定について4月8日に住民説明会を開催し、4月16日の市文化財保護審議会において指定解除の答申があり、5月31日までの公示期間に申し出等がなかったため、伐採手続きを進めております。「七日市長岐邸」の一般公開を5月3日から5日まで行い、約150人が訪れました。

伊勢堂岱遺跡では、8回目となる「カムバック縄文サーモン」を4月14日に開催し、綴子小学校地区の児童をはじめ、ジュニアボランティアガイド、地元の方々やボランティア約50人が参加し、伊勢堂岱遺跡下の湯車川へサケの稚魚約2万匹を放流しました。

また、見学者の安全対策を整え、昨年7月から閉鎖していた伊勢堂岱遺跡の現地公開を4月21日に開始しました。5月6日に伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド37人へ委嘱状を交付し、8月4日からのガイド活動に向け研修の準備を進めています。

<スポーツ振興課>

指定管理施設である北秋田市民プール及び北秋田市営薬師山スキー場の平成29年度の利用者実績数は、プールが33,174人（前年比841人増）、トレーニングルームが22,713人（前年比2,841人増）、スキー場が8,953人（前年比3,050人増）と大幅な利用者の増加となっております。

陸上競技シーズンの幕開けとなります、第56回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会が4月21日北秋田市役所本庁舎前をスタート・ゴールとするコースで開催しました。当日は、好天に恵まれ市内外から167人（前年比6人増）の小学生から一般までが参加し、家族や仲間からの熱い声援を受け健脚を競い合いました。

5月25日、チャレンジデー2018の対戦相手神奈川県寒川町の木村町長と津谷市長がエール交換を行い、それぞれの意気込みを語り合いました。また、6年連続参加の今年度チャレンジデー2018の参加率は63.0%で、前年比3.0%の増でありました。